

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成28年12月20日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻12461号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物認可

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第145号

2016年12月20日

定価**250円**

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市昭和区下横町1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL(052)841-9888
FAX(052)841-3788
E-mail: f-joho@aju-cil.com

テーマ



「change」
書 高橋 誠



絵 川口いづみ

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- | | |
|--|--|
| ●インクルーシブ教育
私が決めた道
公立高校への巻.....1 | ●旅の空から.....21 |
| ●ひろがれ福祉
今こそ、すべての人に情報保障！5 | ●トラベル情報.....24
リフト付きバスで沖縄満喫4日間ツアー
日本平&石垣いちご狩り
他 |
| ●かつきのページ.....10 | ●福祉用具のリサイクル情報.....26 |
| ●体験レポート
僕を変えてくれたJILと富山.....11
お互いさま、助け合い精神を
大切にしている場所.....14
TREE CRIMBINGに挑戦！17 | ●読者のこえ・いろいろ情報.....27
ひかり鍼灸院 東洋医学体験談
NTTドコモ「みえる電話」について
会話が見える化アプリ「UDトーク」
AJU福祉映画祭 in Nagoya 2017
他 |

私が決めた道 公立高校への巻

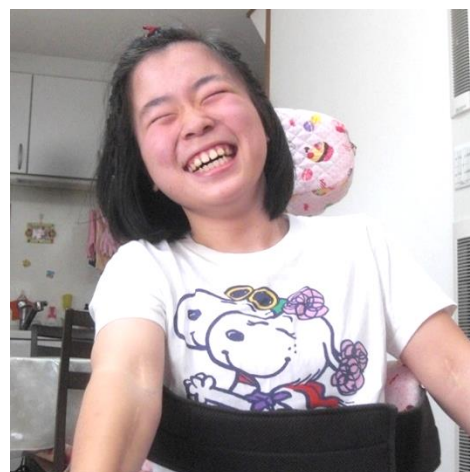


こんにちは編集委員池山です。松葉杖と車いすを併用して生活しています。前号のあらすじ。久野藍里（ひさのあいり）さんは支援学級のある地域の小学校へ入学したのですが、支援学級では勉強を重視されず、通常学級で勉強をしたいと要望しても学校側は受け入れてくれませんでした。そこで学校区の中学校へ勉強と友達作りの期待をしながら入学したのですが、なかなか思うようにはいかず、精神的に調子を崩しても自分で決めた道だからと踏ん張って学校

生活を続けていました。そんな中、産休の先生の代わりに赴任した体育の先生は、藍里さんにできることは自分で、できないことは工夫して授業に参加させてくれました。それがきっかけとなり自信を取り戻していきました。高校も周囲と同じように公立高校の受験に挑戦、結果は2年間浪人生活を歩みましたが、今年見事に合格を勝ち取りました。今号ではどんな高校生活を送っているのかお聞きしました。

＜＜ 久野藍里さんプロフィール ＞＞

脳性麻痺、名古屋市在住。日常は電動車いすで移動し、生活のほとんどに介助が必要です。



Q. 高校生活はどうですか？

藍: 聴講している時、友達に「合格して絶対学校に戻ってくるから」と宣言したので、4月に友達は「お帰り」と迎えてくれました。まず高校に入ったら部活に入部するのが夢でした。友達がたまたまバレー部で、その友達に受験中いろいろ支えてもらいました。私はもともとバレーが好きだったのもあり、今度は自分がマネージャーとしてかわって友達を支えてあげる立場になりたいと思ったのです。しかし、マネージャー制度がないため応援団としての出入りを顧問の先生に認めてもらい、バレー部とかわれることになりました。



Q. 学校は何か工夫してくれていますか？

藍: 卓球の授業でマシーンを倉庫から出してきて打てるように工夫してくれたり、テストは一部

選択方式にしてくれています。授業内容も分かりやすいので、成績が中学校の時とは比べものにならないくらいに上がりました。また、2年間浪人して勉強してきた甲斐もあり実力が伸びました。

Q. 今まで介助はどのようにしていたのですか？

藍: 介助アシスタントの制度（p.3[制度情報]参照）を高校まで広げてもらいました。介助内容は学習中の介助（先生が事前にプリントを用意し筆記を少なくする配慮あり）、トイレ介助、着替え、食事の補助をお願いしています。でも小学校・中学校・高校と時間数が一律なために時間が足らずに困っています。

母: 小学校の時は支援級でしたので介助はすべて先生がやってくれていました。中学校は介助アシスタントが入ってくれたのですが、足りない時間のトイレ介助は私がやっていました。高校は最初、私にも介助に入ってもらいたいと言わ

れましたが、遠いため介助に通い続けるのは正直時間的に無理な話だと思いました。介助アシスタントが年間 460 時間の配置時間では全く足りない現状です。入学前は「女性の先生 20 名、2 人体制で順番にトイレの介助に入ってもらいます。」と言っていたのに、先生は他の生徒の対応に追われて忙しくなってきたという理由から、徐々に介助にかかわってくれる先生が減ってきて、学校側が「福祉のヘルパー制度を利用できないか?」と言ってきました。ヘルパーは学校では利用できないので、正直この問題は学校側が考え、解決する問題なのだと思います。しかし学校との話は一向に進まず、配置時間数が年度途中から増えるわけもなく、当の本人が一番大変な思いをしていたので、見るに見かねて福祉課と福祉サービス事業所に掛け合って、特例として校内でのトイレ介助においてヘルパーの利用を何とか認めてもらいました。今はアシスタント、ヘルパー、先生の三本柱でギリギリ何とかしのいでいます。今後もアシスタントの年間時間を増やしてもらうことと、先生にもう少し介助にかかわってもらえるよう教育委員会や学校に要望を出していきたいと思っています。教育委員会と現場の学校で気持ちの温度差があり困っています。話し合いの積み重ねで理解を深めていくことしかないですね。パイオニアとなると課題が多いです。でも後に続く子どもたちのためにも頑張ります。

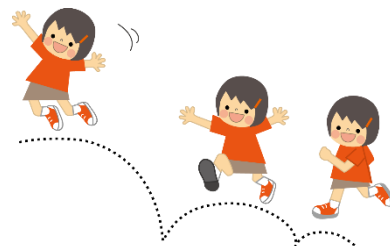


Q. 今後、挑戦しようと言う子に伝えたいことはありますか？

藍: 私は中 2 の時の体育の先生に巡り合えなかったら今の人生が送れていなかったと思います。先生が私は普通でいいんだと教えてくれたし、先生と 5 回も一緒に入試に挑んだから、先生と一緒に掴みとった合格だと思っています。これから高校を目指している子へメッセージを送

るなら、自分が「もういいや!」ってあきらめるか、「まだやるんだ!」と言うかの差で歩む道は違ってくると思う。あといろんなところへ出かけて、いろんな人に出会ってください。私は自分の諦めない強い気持ちと、人との出会いで進むべき道が大きく変わりました。

母: 親の感覚も大事だと思います。子どもの意欲をつぶさないことです。障がいがあると親が子どもの道を決めてしまう方が多い気がします。私自身も社会の壁にたくさん押し潰されながら、立ち向かう勇気が持てずに、障がいのある我が子に対して、「もう仕方ないんだ」と諦めかけていた時期がありました。でも必要な時に必要な人との不思議なご縁があって、私は子どもの気持ちを尊重したいという気持ちに変わっていったのです。自分から行動したことで、多くの人と出会うことができました。だからこんな私たちの道のりを知れば、こんな選択肢もあるのだと思ってくれる親御さんが出てくればいいかなと思います。



取材を終えて・・・

いかがでしたか? 藍里さんは普通に勉強がしたかったし、地域の友達を作りたかったただけなのです。「普通」を辞書で調べてみると、「どこにでも見受けられるようなものであること」と書いてありました。でも世間では障がい者が地域の学校へ行くことに「普通」とは見られていません。入学はできても、学校側から「お家の方で介助をやってもらえますか?」と言われてしまうことがたびたびありました。支援や配慮がなければ、地域の学校を選んだ親子は潰れてしまいます。そこで仲間とともに教育委員会や学校と交渉を重ね、まだ十分とは言えませんが、支援や配慮を認めてもらいました。障がい者が理解されないのは、障がい者のことを専門家に任せて、分けてしまうことに問題があ

と思います。お互いがかかわり合うことで、支援方法や工夫が一般知識として定着すれば理解も増えていくのではないのでしょうか？

また「道のり」とは人に作ってもらうものではなく、自分がどう生きてどんな生活をしていきたいか決めて作っていくものです。今後の藍里さんがモデルとしてさらに成長していくのを楽しみにしています。

地域の学校へ行きたい時の相談窓口



息子の学校生活でみんなとの関わりを重視したくて、支援学級から通常学級へ戻そうと思った時、いじめられるのでは？存在を忘れられるのでは？という不安と戻したいという

気持ちが交互に襲ってきました。そんな時、地域の学校へ通っている親子の会に相談して話を聞いてもらうことで楽になりました。藍里さんのお母さんも言っていましたが、支援や配慮を要望するために教育委員会や学校への交渉を1人でやるのは並大抵ではありません。一緒に活動してもらうことで心強くなりますよね。下記の団体へ相談してみてください。

●障害児を普通学校へ・全国連絡会

東京都世田谷区南烏山6-8-7 楽多ビル3F

TEL 03-5313-7832

FAX 03-5313-8052

Eメール：info@zenkokuren.com

地域の学校へ通っている親子の会が自分の地域に無い場合、相談やできるかぎりのサポートはしてくれるそうです。またお近くの団体を紹介してくれますし、ホームページでも団体一覧は検索できます。

●名古屋「障害児・者」生活と教育を考える会

TEL/FAX 052-321-7094

Eメール：harukoi_mk@yahoo.co.jp

上記の会から稲沢、蟹江、豊川、豊田、西尾、と地域の学校へ通っている親子の会が立ち上がって各地域でも相談に乗っています。

●名古屋市障害者差別相談センター

名古屋市北区清水4丁目17-1

名古屋市総合社会福祉会館5F

TEL 052-856-8181

FAX 052-919-7585

Eメール：inclu@nagoya-sabetsusoudan.jp

今年4月から障害者差別解消法が施行されました。それに伴い、相談センターも各地で開設されました。学校へ配慮を求めてなかなか話し合いがうまくいかなかった時、相談センターと一緒に話し合いの調整に入ってくれます。

愛知県障害者差別解消推進条例ホームページにて各市町村の相談窓口一覧が検索できます。

地域の学校へ通っている子どもたちの制度情報（名古屋市）

●学校生活介助アシスタント

障害のある幼児、児童生徒に対して、年間を通して介助等を行います。

・対象（名古屋市立）

幼稚園、小・中学校（通常学級、支援学級）、高校。

藍里さんがきっかけで高校も介助アシスタントが認められました。

・具体的な内容

移動、食事、着替え、排泄、安全配慮、学習中の介助等が中心。

・年間利用時間

終日付添 年間460時間以内

必要時付添 年間260時間以内

校外学習 年間42時間以内（宿泊のない校外学習）
年間利用計画を提出して時間が決まります。

●医療的ケアの必要な児童生徒の支援

医療的ケアが必要な児童生徒に対して、医療的ケアと生活介助を行う看護介助員を配置します。

また、固形物の摂取が困難な児童生徒に対して、ミキサー食等を調理する学校栄養

職員を配置します。

関係機関と連携を図るとともに、医療的ケアの実施を協議し、連絡支援



体制を確立するための医療的ケア連絡協議会を設置・開催します。

園、学校に配置される支援員

●発達障害対応支援講師

学級や教科担任との連携を図りながら、学習支援等を行う。

●発達障害対応支援員

学校（園）生活における介助を行う。学習の準備、休み時間や食事の時間、安全配慮、学習中の介助等が中心。

他はどうなの？

●愛知県立高校への支援員制度

県立高校へ入学が決まった障がいのある生徒に、高校に配置されている学校特別支援コーディネーターが相談にのり、支援内容と利用時間が決まります。

- ・具体的な内容 学校生活支援
- ・年間利用時間 960時間以内

●岐阜県立高校への支援員制度

今年度より始めた事業で、県立高校9校に発達障害の生徒を支援する支援員を配置。

●小・中学校向けの支援員

県教育委員会や「障害児を普通学校へ・全国連絡会」へ取材をしました。支援員派遣は各市町村の教育委員会で決めていて、自分の住んでいる教育委員会へ要望を出して支援員を認めてもらったり、学校の先生方で支援していたり、個別に対応されています。

まとめ

インクルーシブ教育は障がいのある子もない子も共に学び成長していくという考え方です。

私が「考える会」の皆さんに話を伺ってみると、『支援員の方も一生懸命してくださり感謝はしていますが、常に見守るためにべったり付きっきりになることと、先回りして支援してしまうことは困ります。支援員には障がいのある子の‘黒子’に徹してほしいと思います。まれに担任も、支援員に子どもを任せっきりにしてしまって、子どもと支援員の関係だけの世界ができ上がり、普通学級の中に支援学級ができてしまう様なこともあります。やはりクラスメイトや担任が関わることが大事です。障がいのある子もない子もお互いに、いいことも失敗もといった「当たり前の経験」とおして成長するという視点が大事です。』とのことでした。私も思うのですが、障がいのある子は何もできないのではなく、周りの工夫と本人の経験数も足りないです。発達障害の多動行動も、実は本人は何か困っていて、どう訴えればいいのかわからなくて行動に出ている場合があるので、原因をさぐって対応を変えたことで、改善したという事例を読んだことがあります。いい事例や支援方法を一般知識として共用してもらうことが必要なのではと思います。ただ支援員に守ってもらうことや失敗させないことが、実は障がいのある子の人生経験を摘み取ってしまう危険が隠れていることを忘れないでほしいです。支援員との適度な距離感を保つには話し合うしかないと思います。あくまで原点は、子どもがみんなと一緒に学校生活を送り続けるために、よい方法を探るという視点を忘れないことですね。



今こそ、すべての人に情報保障を！

愛知障害フォーラム
(ADF) 地域フォーラム

～愛知県手話言語・コミュニケーション条例（仮称）とは～

シンポジウム

2016年9月10日(土)

名古屋市北区役所講堂

にて



《シンポジスト》

愛知県障害福祉課 主幹／保木井研次 氏

一般社団法人愛知県聴覚障害者協会 理事長／服部芳明 氏

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会理事長／仁木雅子 氏

NPO 法人愛知県難聴・中途失聴者協会 理事長／黒田和子 氏

助言者

兵庫県明石市福祉部福祉総務課
障害者施策担当課長／金政玉 氏

コーディネーター

岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
安田和夫 氏

前号では、明石市のコミュニケーション支援も含んだ条例や取り組みについて、金政玉氏の基調講演をご報告しました。今回はシンポジウムの様子をご紹介します、愛知県のその後もお伝えします！！

愛知県はどう考えているの？

愛知県障害福祉課 主幹／保木井研次 氏

現時点での条例の名称は『手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例』で進んでいる。5回にわたって検討（愛知県障害者施策審議会/2回・ワーキンググループ/3回）をした。



条例案は、前文で現状に対する認識や、こういった方向性をもってこの条例をつくっていくのかということを記載している。「手話が言語である」ということで、手話をつかうことに対して過去に様々な制約があった「歴史認識」と、まだまだ手話に対しての理解が不十分だという「現状認識」。また様々なコミュニケーション手段の必要性や、「差別解消」を進めていく上でも非常に大事な要素を含めている。

コミュニケーション手段の例示として、「手話、要約筆記、点字、触覚を使った意思疎通、筆談、

代筆、音訳、平易な言葉、代読、実物又は絵図の提示、重度障害者用意思伝達装置等」と、かなり幅広い分野についての記載をした。



「基本理念」では、①相互に人格と個性を尊重し合うという認識のもとに普及や利用促進を行っていくこと、②手話は言語だということを、認識をしながら進めていく、③コミュニケーション手段についての重要性を認め、その利用選択の機会の確保と利用の拡大、この3点を掲げている。

9月議会で提案して承認をいただければ、特に時間を設けることなく速やかに遂行して参りたい。



手話は私たちの言語…日本語と同等に

愛知県聴覚障害者協会 理事長／服部芳明 氏

手話言語条例等は、私たちの上層団体である全日本ろうあ連盟の取り組みから始まった。まだ国が「手話言語法」について動いてくれない中、鳥取県が条例制定後、日本は大きく動き出した。



昔、高齢ろうあ者は社会から離されていたため、日本語の読み書きができない方がたくさんいる。その人たちにとって手話は大切な言語だ。

一般の老人ホームに入所しても、手話を使えず孤立し、施設の中で一人寂しく暮らしている。条例は高齢ろうあ者の介護等とも結びつきがある。

愛知県は「手話は言語」として使えるには、まだ十分な環境とはいえない。「日本語」が上で「手話」が下と格下に見られてきた。言語であると認められた以上、日本語と同等に認めていただけるようにしていきたい。

福祉の恩恵からも外れた埋もれた障害 魂の入った生きた条例に！

愛知県難聴・中途失聴者協会 理事長／黒田和子 氏

本日の情報保障として、パソコン要約筆記、私の席からはスクリーンが見えないので表示用のパソコン、フロアの左側と壇上に磁気誘導ループを設置して環境整備をしていただいた。



パソコン要約筆記

「通訳」という言葉は浸透しているが、「情報保障」という言葉は業界用語のような使われ方をしている面がある。一般の方たちに浸透しているのが疑問点のひとつだ。

難聴・中途失聴を、なかなか聴覚障害だと理解してもらえず「埋もれた」障害だと言われている。高齢難聴者も含めると800万～1000万人。その中で身体障害者手帳を持っている方はわずか34万人。たくさんの方が、福祉の恩恵から外れた中で埋もれている。障害者と認められずコミュニケーションに不自由している方たちにも、行き渡るような条例になってほしい。

兵庫県明石市は、『手話言語・障害者コミュニケーション条例』制定後、助成事業をまもなく実施し、配慮条例を続けて達成された。条例をつくっ

た後に魂を入れる作業をしている。是非愛知県も見習ってほしい。それでこそ生きた条例になる。

知的障害の方の保障が一番遅れている 新しい時代の流れをくんだ条例に！

名古屋手をつなぐ育成会理事長／仁木雅子 氏

知的に障害がある方への情報保障、コミュニケーション支援は、一番遅れている。

ルビ等「わかりやすい表現」にプラスし、「支援をする人たち」が必要である。教育・福祉の分野では、「支援者」という立場の方が、本



人の意思を少しでも反映したいと努力している。

どのような支援が実現できるのかが課題。「知的障害や発達障害のある方は特性別の支援を得られる」と明記した条例にしていきたい。



3月に改正された障害者総合支援法で、「知的障害・発達障害の方を含めた意思疎通の支援者養成、また派遣事業も含めた対象」と位置づけられた。新しい時代の流れを汲んでいくことで、整った実効性のある条例内容にしていきたい。「ガイドライン」で特性別の支援体制、県の整備等はどうしていくのか。明石市は条例制定の段階において、一般的なヒアリングやパブリックコメントを出した上で行われた。愛知県でも手続きは取っていただきたい。

実効性の担保とガイドライン

保木井：障害者施策審議会の中で新たに「障害者のコミュニケーション」について検討していただく場をつくり、議論を深めて施策関与していきたい。

「ガイドライン」は、普及啓発という観点からしっかりとやっていかないといけない。どういう障害の特性があって、それに応じたコミュニケーション手段としてどういったものがあり、配慮しなきゃいけないのか…冊子かパンフレットのような形かは今後の検討課題だが、県民の皆さんにも理解を深めていければと思っている。

Q 「タブレット」を使った コミュニケーションの有効性は？

金: 明石市は、「タブレット」を使った遠隔手話・遠隔文字の操作で、コミュニケーションができる仕組みをつくっていきたいと試行中。手話は実績がある。難聴者・中途失聴者の方が音声を変換し、「タブレット」を通じたコミュニケーションは、ほとんど実績がない。当事者の方としてはどうか？



A 年配の方には…しかし「災害情報等」 には実効性のある期待ツール

黒田: 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会では、全国大会の分科会で、毎回のように「音声認識装置の普及を目指す」と取り上げている。

「タブレット」に出てきた少しの文字数なら読めても、次から次へと文字が出てくるのは読みきれない。末端の会員さんは高齢者が多い。年配の方は使いこなせない方が多く、それが普及のネックになっている。



「タブレット」を使ってやり取りをするよりも、会って紙とペンを使って筆談し合う方が、表情やしぐさを見ることができ、その人が考えていることが分かる。どちらかというと紙とペンを使った筆談の方が、年配の方にはうけている。



ただ「災害情報等」を音声文字で流せば実効性があるツールで、これからも期待できる機器だ。

Q 二つの条例がつかれないか… その議論はどうだったのか？

金: 明石市では「手話言語条例」と「情報コミュニケーション条例」、二つの条例がつかれないのかと、ろう者や手話通訳研究会の方から粘り強く意見が出た。愛知県ではどの様にクリアできたのか？

A メリットもデメリットもあった… お互いの暮らしで困っている事を共有

服部: 愛知県聴覚障害者協会（愛聴協）の考え方として、「手話言語条例」と「情報コミュニケーション条例」は分けた方が効果はあると思っていたし、「ひとつになっては、なかなか議論ができないのでは？」という意見もあった。



共に運動している愛知県手話通訳問題研究会と作ったチームに持ち帰り討論をした。「聴覚障害者にとって良い社会になれば、その二つが合わさってもよいのではないか」という意見でまとまった。

ひとつの柱に絞り集中して話すことができなかったのは大きな反省だが、様々な障害の方たちと各々暮らしの中で困っている事を共有できた。他の障害者団体の実態を知らないままにいうのもよくないが、逆に「手話は言語である」という考え方も理解していただけなかった。お互いに話をすることで、歩み寄れた。今後もっと検討を十分にしていけば、大きなメリットになる。

会場からの質問



Q 県立ろう学校への有効性は？

Aさん: 明石市の条例 12 条は、「学校の現場において、聞こえない子どもが学校の中で手話で学ぶような環境をつくるように努める」という内容だ。

明石市の小・中学校が対象だと思うが、県立のろう学校や高校に通っている生徒たちはどうなのか？ また手話を知っている先生、聞こえない子どもがいれば、コミュニケーション方法はどのようなのか？



A 条例の対象は明石市内… 「手話教室」実践モデル校

金: 兵庫県は神戸市にろう学校がある。明石市内のろうの子どもは、その神戸市のろう学校に通っている。条例の対象は明石市内の学校になるので、ろう学校との関係では難しい状況だ。



現在「手話教室」を積極的にやっているのは明石小学校。難聴学級で取り組んでいる。校長先生自体が積極的に「やろう!」と音頭をとっていただいた。役所の方からも手話通訳ができる市職員や、明石ろうあ協会の役員さんが一緒に行っている。そこがモデル校になり、少しでも他の小学校に広がっていく取り組みができればと思っている。

Q. 兵庫県は条例をつくる予定があるのか?

Aさん: 愛知県の場合は、まず先に県が条例を制定し、次に市がつくっていく。兵庫県は条例をつくる予定があるのか?

A. 現時点ではなかなか難しい状況…

金: 兵庫県は去年の夏頃、「障害者差別解消条例」のための研究会を置いていたが、結果的には先送りになってしまった。明石市から見ていると、県が「手話言語コミュニケーション条例」の取り組みに入っていくのは、そこがクリアできないと難しい状況だと感じている。

会場からの意見

聴

い

て



愛知県には「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」があるのに…

Bさん: 愛知県には「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」がある。また文科省は「地域の学校にすることは、法律によりノーマライゼーション、合理的配慮だから当たり前だ」とおっしゃられるが、愛知県内の小・中・高校は、エレベーターがない学校ばかりでスロープもない。



支援機器については、しゅしゅ使われたり全く拒否をする自治体もある。愛知県に条例があってもエレベーターがつかないように、コミュニケーションでデジタル機器を使用することは期待をしているが、非常に危惧もしている。

名古屋育成会「本人決議」…

今日の私たちの3つのお願い…

Cさん: 名古屋育成会の本人の会の青年の会「本人決議」がある。今日の私たちの3つのお願い…。私たちのことを決める時は、私たちを話し合いの中に加えてほしい。また支援者を付けてほしいということ。もうひとつは、災害が起きた時、障害者に正しくわかりやすい情報（避難所などに絵をつける）が届くようにしてほしい。難しい言葉や表現を、もっとわかりやすくして、自分で決めることが出来るように助けてほしい。

情報から疎外…「音声案内」は視覚障害者にとって必要だ

Dさん: 視覚障害者にとっては、点訳か音訳はかなり保障がつく。しかしもっと実際の日常生活では、「音声案内」を必ず付けてもらうことが必要だ。例えば駅の電光掲示板。遅れてくる電車の情報、待合室等で電光掲示板に音声は付かない。



またテレビでは、全ての天気予報や朝夕のニュースで字幕スーパーは出ているが、ほとんど音声は付かない。情報障害…情報から阻害され、すごく困っている。墨字や点字等と共に音声を付けることは、視覚障害者にとって必要だ。

さらに協議をしてよりよい条例へ…愛知が変わっていくことを期待

服部: 聴覚障害者だけではなく、様々な障害の人たちが暮らしやすい愛知県になってほしい。

条例を制定して終わるのではなく、様々な障害者を含めて部会を立ち上げ協議をし、よりよい条例に変えていきたい。少しずつよい条例になり、愛知が変わっていくことを私は期待をしている。

なぜパブリックコメントをやらないのか? 声を拾い上げて もっとよい条例に

黒田: フロアからいろいろなご意見が出ていたが、そういう声こそ拾い上げる必要がある。

決められた人たちの中で話し合われた条例案では、やはり不足している。なぜ議会にあげる前にパブリックコメントをやらなかったのか？慌てて9月の議会に出さず、声を拾い上げた後で議会にかけ、4月施行というのも検討していただけると、もっとよい条例になるのではないかな。

特性のある方々の生活が 自分らしい暮らしになるように…

仁木: 急ぐとはいえ、しっかりとした条例にしていたくために、多くの当事者の方の思いを拾って混ぜていただくことは、時間的にも可能である。

特性のある方々の生活が、充実した自分らしい暮らしになるような条例を一番望む。

具体的な施策については 意見を反映したものにしたい

保木井: 今回の条例というのは、大きな枠組みを定めている。具体的な施策については、今後、議論をしながら進めていく中で、皆様方からの意見を反映したものにしていきたい。

全国手話言語市区長会・手話を広める 知事の会～互いに連携した取り組みを

金: 「手話言語障害者コミュニケーション条例」を明石市がつくっても、他にやろうとする県や自治体はないと思った。「手話言語条例」は、枠がある



程度ははっきりしているのでやりやすい。多様なコミュニケーションまで含めてやろうと思うと、どこまでやればよいのかという話になりかねない。

しかし驚いたことに、一年、二年と経過するにつれ、議会からの視察が非常に多い。

「全国手話言語市区長会」が、この6月にできた。



愛知県もやっとスタートラインに立った！！ パブコメもまだ…本番はこれから…

事務局長は、泉 房穂（いずみ ふさほ）明石市市長。会の目標は、国に「手話言語法」や「情報コミュニケーション法」を求めているというもので、「一緒に協力して行おう」という動きがある。

もう一方で「手話を広める知事の会」が最近できた。先程のようなことを国に求める目標はまだないようだが、手話言語やコミュニケーションのことを考えていくために会ができた。これからも都道府県、市や町が連携しながら、力を合わせて取り組み、進めていけたらよいと思っている。

愛知県…都道府県レベルで★初★ 『手話言語の普及及び障害の特性に 応じたコミュニケーション手段の利用 の促進に関する条例』誕生！！

2016年9月21日、定例県議会に提案。

10月14日制定、10月18日に交付、即日施行された。手話以外に幅広く対象を広げた言語条例の制定は、都道府県レベルで初めてとなる。

啓発活動実施の為に9月補正予算は約230万円。



愛知県 HP より……

この条例は、手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進を図り、もって全ての県民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に寄与することを目的として、基本理念を定め、その下に、県の責務、県民、事業者の役割及び学校等の設置者の取組を明らかにしています。

王子様は学校に 行く暇がありません

堤 剋喜



三分の二は、馬の蹄の音が続き、闇や騎手の不安を表す主題が交差する。不意に鳥のさえずりが聞こえ、光が差し込んでくる。騎手は安堵して、一応ハッピーエンド。野鳥が出てくるところをみると、たぶん白夜の前後の時期。夜は短くて、馬が走れる時間とそう変わらない？前半部分だけ取り出して、馬の速歩を人のゆっくりとした歩調に変えれば『葬送行進曲』そっくりになりそうだと気がついた。

僕が習った交響詩の定義は、「基本的に一楽章で完結するオーケストラのための作品で、作曲家が最初から具体的な表題をつけて発表したもの」楽器編成と番号、長調か短調かくらいしか伝わらない曲名よりは区別しやすい。それに、本のタイトルと同様、事前に内容のヒントがある分、初めて聞く場合でも、比較的に曲の流れに乗りやすいことが多い。ところが、作曲家が文芸作品や神話から着想を得て、自分の楽曲に物語と同じ表題や登場人物の名前を援用してくることもある。元になった作品なり物語を知らないままに聞かされる立場になると、表題がかえって邪魔になることもあり得る。音楽評論家やコンサートの主催者のお世話になればすむのだろうが、解説付きのレクチャー・コンサートは珍しい存在だし、当日渡されるプログラムノートを開演前に隅々まで読むのも手間である。

『夜の騎行と日の出』という交響詩がある。こちらは予備知識がなくても聞けると思う。タイトル通りの曲。冒頭から

救援を要請するために、主人公が、夜、馬に乗って自分の城を出て行く。その晩のうちに隣国の皇太子と謁見してしま

う。そんなシーンを兄と観ていた。距離と時間の流れがおかしい。そう感じて「どうしてあんな風に外国へ行けるの？」と尋ねてみた。「ヨーロッパは地続きだから、馬でも国境を越えられる。日本みたいな島国じゃないからね」それはわかってるんだけど、そのとき本当に聞きたかったのは、「王様のいる城は王国の真ん中にあるはず。自国の首都から隣国の首都まで馬でひとつ走りというのは近すぎやしないか？」だった。期待外れの答え。でも聞き直すと長引きそうなので、そのままにしておいた。高校の友達にこの話題を向けてみた。「設定資料を見ていないからなんともいえないが、十歳くらいの子供が徒歩と馬だけで動ける範囲は隣の区までだろう」「王様といっても今の町村長くらいだ。結局「作る人の都合で旅のところをカットしたかもしれない」三人で談笑していたときに、彼が半ば自嘲的に、もらしたことがある。「うちの学校は養護学

校かよ。障害者ばかり目立って」と。軽いシヨクを受ける。僕が拳を握るのが見えなかもしれない。もう一人も黙った。間があつて、非言語コミュニケーションが成立。「おいおい、悪い冗談はよせよ」くらいで済ませたつもりだ。別の話題に移り、僕もそれについていく。後は何事もなかった。

「こゝは特殊学級じゃないのだから、校則通りにまじめにやれ」中学校の教科担任の言葉。一部の生徒をもてあました上で感情的に出たもの。蔑視の公言・追認になるとご本人が気づいていたら、他の言い方をしただろう。校内に特殊学級はまだ併設されておらず、僕一人にはなくてクラス全体に向けた発言だった分、やり過ぎるのは割に楽だった。クラスメイトがどう受け取ったかはわからない。

「俺よく考えてみたよ。俺はおまえと過ごしたくない。お前もここにいるのはつらいだろう。だからお前が養護学校に転校したら？みんなうまくいくと思う」「三年生の時の級長が僕に直接言った言葉。議論しても無駄と見切り、黙殺。すでに、高校入試目前で、転校の選択肢はなかったから、卒業まで登校できないようにするための言動だったかもしれない。級長が率先して、いじめる側に入る、やつかなクラスだった。

おとぎ話の王子には、専属の教育係や教授陣がついていて、学校へ通う必要はないし、そんな暇もなさそうだ。学校は家臣や聖職者の養成機関。「人生四十年とか五十年」なら、世襲制やギルド制は必然だったろう。親子や師弟の間で、濃密に急いで教えないと、共同体に不可欠な技能の伝達や、災害への対処がおぼつかなくなつたのではないか。稲作や牛の繁殖の工程を全部習得してはじめて、米やミルクを得ることが出来る。しかし、年に一度しか実習できない。

いま、子供たちには学校へ通う権利がある。同世代のもの同士が、利害関係を離れて交わることが出来る場はとても貴重だ。本来、学校は安全に試行錯誤、満足するまで失敗とやり直しが出来る場所のはずだ。せつかくの権利だから、行使できるのに超したことはないし、できて当たり前だ。けれども、学校が安全を保証してくれない場合、深手を負う前に一時棄権するのも護身術の一つだ。これは避難であつて、ずる休みじゃない。身の危険を感じていたら、皆勤とか精勤にこだわっている場合ではない。

自分が困っていたり、誰かが困っていることに気づく。そして、助けを求めたり、相談したりする。事情を説明するために関係者の名前を出しても、告げ口ではない。同じように苦しんでいる人は一人ではないから、公益通報に近い。

自分が困っていたり、誰かが困っていることに気づく。そして、助けを求めたり、相談したりする。事情を説明するために関係者の名前を出しても、告げ口ではない。同じように苦しんでいる人は一人ではないから、公益通報に近い。

僕を変えてくれた JIL と富山

どうも。マッピーです。はじめて6月末に全国自立生活センター協議会総会（浜松）と、9月末に東海北陸車いす市民交流集会（富山）へ行ってきました。いろいろな人と交流をして、いやぁ楽しい、中身が濃い研修でした。他の障害者団体の人とランチをしましたし、飲みにも行きました。楽しかったです。

最近は、ケツメイシとAAAとKAT-TUNとUVERworldにはまっています。SNSからもどんどん若い世代の女性たちから仲良くしてほしいと言われ、ライン交換して連絡しています。もう三十路になってしまいました。もし、街で見かけたら声をかけてください。

今回はこの2つの報告をまとめてしたいと思います。お楽しみに…



第25回全国自立生活センター協議会総会 in 浜松

6月27日（月）

13:00-	情勢報告 講師：尾上浩二・佐藤聡（DPI 日本会議）
15:30-	2016 年度 JIL 総会

6月28日（火）

10:00-	熊本大震災救援活動の報告 講師：日隈辰彦（ヒューマンネットワーク熊本）、吉村千恵（熊本学園大学）山之内俊夫（Yahoo! みやざき）、平下耕三（夢宙センター）
13:30-	北中米自立生活運動のいま ～世界とつながるグローバルIL セミナー～ 講師：ケリー・バックランド（NCIL 事務局長）、ウエンディ（Morpho 事務局長）
18:00-	日米交流レセプション 講師：船橋裕晶（自立生活センターリング）、陶延彰（自立生活夢宙センター）、竹沢幸一（八王子精神障害者ピアサポートセンター）

6月29日（水）

10:00-	～ロールモデルに学ぶ～ CIL で活動する精神当事者リーダー達の取り組み 講師：船橋裕晶（自立生活センターリング）、陶延彰（自立生活夢宙センター）、竹沢幸一（八王子精神障害者ピアサポートセンター）
13:30-	日米ユース交流プログラム 講師：デジー・フェイト（アクセスリビング副代表） 企画・担当：JIL ユースパワーネット

1日目：情勢報告

はじめは何を話しているかわからなかったけれど、資料をよく見ていると「あーなるほど」とわかりはじめて、スマホの録音をホテルに持って帰ってもう一度確認したら、さらにわかるようになってきました。尾上さんや佐藤さんの説明がうまくて、僕も見習うところだと思いました。

日本政府の考えとしては、障害者の制度と高齢者の制度との統合の図が、裏で出来上がっているそうで、今後が心配です。例えば、ヘルパーの時間数を減らされたり、サービスを受けたいのに受けられない人もいますし、補装具制度も厳しくなる場合もあるそうです。それを止めるには20代、30代が声を上げることが必要だと改めて思いました。

2日目：熊本大震災救援活動の報告

日本は地震大国なのに、避難所の中には車いすで入れない場所も、まだまだあるそうです。それを聞いて「何やっているの」と一瞬思いました。まさか熊本に地震が起きるなんて誰も予想できなかったと思います。

今後、東南海地震が起きると言われていますが、起きる前に避難所をバリアフリーにするべきだと思いました。

障害者に対しての勇気づけになるので、障害者も熊本に是非来てほしいとのことでした。

2日目：北中米自立生活運動のいま ～世界とつながるグローバルILセミナー～



コスタリカとアメリカの共通点とは、「運動は一人の声から始まっている」というのがひとつあります。運動をすることで、世の中と人を変

えることができます。アメリカの場合は、若い世代がリーダーとして頑張っているし、女性たちのリーダーがいて、強い人がいることで、何にも知らなかった障害者が、参加しようと思う気持ちになると思いました。日本は当たり前だと思う人もいますが、世界や日本でも地方に行くと、まだまだバリアフリーになっていないところもあります。僕は日本の3分の1は周り、新しい出会いもあり、旅をしながら交流を深めたいと話をして聞いて改めて強く思いました。

2日目の夜：日米交流レセプション

アメリカのリーダーと交流しようという食事会がありました。

僕は AJU 自立の家（以降 AJU）のグループに入らずに、他の団体のところに行きました。やっぱり「この機会を逃すともったいないなあ」と思い、いろんな人と名刺交換をしました。宮崎県のCILの人から「名刺というものはただ渡せばいいというものじゃない。なんかあった時に助けたいと思うものだ」とアドバイスをもらいました。

実は、1日目の休憩時間中から名刺交換をしていて、ランチと飲み会の約束をしていました。ある人から「あべちゃん、どうしたの？ なんか変わったね」と褒められました。

交流会でアメリカのリーダーと仲良くなりました。連絡先を交換しようかという流れになり写



真をとりました。本当にAJUのメンバーたちと動いたのは、行き帰りと1日目だけでした。なんかごめんなさい。



誰かAJUの人に「一緒に遊ぼうよ」と誘われたけど無視しましたが、交流会が終わった後に、他の団体の人と飲みに行きました。今でもここで出会った人とSNSでやりとりしています。本当に楽しかったです。

3日目：～ロールモデルに学ぶ～

CILで活動する精神当事者リーダー達の取り組み

なんだろうね。僕は、この時からSNSの中で、精神障害者や内部障害者と関わる機会が多くなったおかげで、今はあまり気にしないで、相手の悩みを聞いてあげることが大切だと思いましたね。僕にはわからない痛みとか思いを聞いていると、今まで知らなかったこともわかってきたし、普段、親には話せないことも僕には言ってくれたりしてもらっているの、「話してくれてありがとう」と思っています。いつも教えてもらっています。



第22回 東海北陸車いす市民集会 in 富山

9月24日(土) 13:30-16:00	開会式・講演会
9月25日(日) 9:30-11:50	シンポジウム・閉会式

今回の集会は、障害者の人権が大きなテーマとなっていて、主に障害者差別解消法の話でした。まだまだ何が差別なのか事例は少なく、世の中には浸透していない状態です。日本全国各地で取り組むべきだと思いました。

集会の中で印象に残ったのは、はじめの実行委員長の挨拶の後にあった、相模原障害者殺傷事件に対しての話です。あれは、僕個人の考えとしては、犯人も悪いと思いますが、全てが悪いと思いません。施設も辞めた時に、辞めた後のケアが必要だったと思います。精神障害があるかないかの問題ではなく、犯人の思いとかを周りの人が聞いてあげれば、19人も殺さなかったと思います。真相はわかりませんが、とても考えられました。でも、許せない気持ちもあります。

ライトレールと古い町並み

集会が終わってから、富山見物に出かけました。はじめての体験で、路面電車（ライトレール）に乗りました。

広島と長崎に行ったことありますが、悲願の路面電車に AJU の人から「せっかくだから思い出に乗ってみる？」と聞かれて、僕は「はい。ありがとうございます」と言い、乗りました。駅員さんにもよりますが、スロープを出してくれて、対応がよくて素晴らしいと思いました。

車内からは周りがよく見えて、両側には古い町並みが見え、タイムマシンで戻ったような風景と現在の風景が織り交ざっていて、歴史好きにはたまりませんでした。僕は古い町並みが好きで、城などは感動しました。段差とか、まだまだあるので車いすでは動きにくいかなと思いました。でも僕の考えでは、バリアフリーにはなって欲しいですが、すべてにスロープをつけたり、わざわざ工事をして壊したりして、バリアフリーにする必要はないなと思いました。町並みや城にある雰囲気できるだけこわさない工夫ができるといいなと思いました。

ライトレール



参加して感じたこと

今までは、AJU の人とだけで繋がりをもっていました。JIL 全国総会や富山の交流集会で、AJU や名古屋以外の人たちと出会って、名古屋との違いを知りました。

例えば、他の県では、年金と生活保護をもらわないとひとり暮らしはできないという現実を聞きました。名古屋でも生活保護をもらっている人はいるけど、就労支援事業所など、障害者が働く場所が他のところよりも多いので、名古屋は幸せだなと思いました。

また、ヘルパーを使える時間数も、県によって格差があるとか、道がバリアフリーになっていないとか、雪が多い県は冬場にあまり外へ出られないことなどを聞きました。

いろいろ共有できて、交流することで、僕には当たり前前のことが、他では当たり前じゃないんだなあと思いましたし、いろんなことが分かりました。それに、ここで知り合った友達が毎日頑張っていることが分かったら、僕も負けない、もっともっとレベルアップしてやろうと思いました。

仲間と職員の関係についても、話す機会がありました。ある県では、17 時に生活介護が終わると、お酒を飲みながら仲間と交流の時間をもち、そんな中からも新しいイベントなどの案が出ることもあると聞きました。

AJU では、会議などいろんな事情があって、職員も忙しいと思いますし、ストレスは溜まっていると思います。でも、よく職員から誘われて一緒に飲みに行く仲間もいますが、中には、気を遣って誘ってもらえないことにストレスが溜まっている仲間もいると思います。みんな同じだと思いますが、AJU でも、もう少しいろんな仲間と交流して、仲間が今何を思っているか、聞く耳を持ってほしいと思います。

イベントなどを企画する時も、職員からは「会議に参加しても構わないよ」とよく言われるけど、ちょっと参加しづらい空気があります。職員だけである程度のことを決めるのではなくて、仲間も会議に入って、仲間の案にも耳を傾けてほしいと思います。毎年、同じ職員や仲間で行うのはうまくいくと思いますが、それじゃあマンネリ化して参加者も同じになると思います。実際に、そうなっているところもあるなあと感じます。あまりイベントに参加しない僕が、偉そうなことを言って申し訳ないです。

全国からたくさんの人が集まる企画に参加して、いろんな人と出会って話を聞く機会を持てたおかげで、改めて自分がある AJU を見つめ直すいい機会になりました。AJU のやり方もいいと思いますが、もっともっと若手が生き生きしているところを見たいですし、新しいことをやっていきたいと思いました。

お互いさま、助け合い精神を大切にしている場所

皆様、こんにちは。「ま〜くん」こと高橋誠です。僕は肢体障害と聴覚障害というダブルなハンディを抱えていて、現在、わだちコンピュータハウス（障害者就労支援事業所）で働いています。天然でまわりが癒やされています。よろしく。

今回は、今まで自立生活に気張ってましたが、心身ともに衰えてきて、元プロレスラー天龍さんみたいに足腰が動けなくなってきた、これからの暮らしについてどうあるべきなのかと考えるようになりました。手始めに名古屋市緑区にある「南生協よってって横丁」を見学しました！



あらっ？あそこにあったんだ。

「南生協よってって横丁」の見学の前にネットで情報収集をしました。なんと南大高駅のすぐそばで、イオンモール大高店の隣にありました。今まで映画を見に行くためにイオンの方にはよく行っていました。そのとき、「おや？凄い立派な建物があるんだ…」とずーっと気になっていました。その建物こそ「南生協よってって横丁」でした。さらに裏に「総合病院南生協病院」があります。今までの施設の建物とはまた違ったカラーの建物でして、びっくりぽんや。

さてと、南生協よってって横丁とはどんなところなのか、説明します。



よってって横丁とは？

ま〜：ふむふむ、ネットによると…日本は少子高齢化が進んで、何と東京オリンピックが行われる頃には、65歳以上の人口が30%に迫り、75歳以上の人口は15%を突破すると言われています。

ひえーっ！超高齢社会ですね…さらに調べてみると…

これまで、健やかな老後を送るために、様々な医療・介護サービスができてきました。しかし、この超高齢社会を迎えた今、地域のささえあい、

たすけあいの協同なしに、くらしが成り立たなくなってきました。

ま〜：サービスが足りないのは、どこでも同じですね…うーん。

南医療生協は、これまで、組合員・支部地域にささえられ、様々な事業サービスを展開してきました。それは、「お互いさま」という、相互扶助にこだわった居場所づくり、ささえあい・たすけあいの事業化でもありました。

ま〜：公的なサービスだけでなく、「お互いさま」「たすけあい」の気持ちで地域を創っていくんだあ。

「南生協よってって横丁」は、2012年4月からスタートした「10万人会議（南医療生協近未来構想会議）」に寄せられた声をかたちにする医療・介護・高齢者居住スペースに、赤ちゃん・子ども・若者から人生の匠までが交流でき、役割のあるスペースを組み込んだ複合施設です。また、「横丁」に隣接した「総合病院南生協病院」との連携で、くらしを応援する医療・介護展開もいっそうすすみます。

「南生協よってって横丁」が出来上がるまで、色々な運動を行っていました。「1支部1福祉運動→いっぴく運動」「見守りネットワーク」「見守りネットワーク食事会」「瀬戸外国人の健康チェック」「南医療生協健康づくり健診運動→

ケンケンサイクルを地域で回す」「のびのびすくすく子育て支援運動→のびすく運動」「事業所づくり」「百人会議」「千人会議」（→それが発展して、最終的に「10万人会議」になりました。）を経て、「南生協よってって横丁」が2015年4月にめでたくオープンしました。

ま〜:  そんなにたくさんの声を聞いて、話はまとまったのかなあ...と思ったら、やっぱり、なかなかまとまらなかったそうです。ただ、いろんな取り組みや話し合いを重ね、とにかく言いたいことをいっぱい出してもらった。話していくうちに、みんなが「これは無理だね」「これはできるよね」となっていて、納得していけたんだって。話し合っていく過程ってだいじなんだなあ。オープン、おめでとうございます！

楽しそうな病院と施設だなあ...

南生協病院は外から見たら普通の総合病院に見えましたが、中に入ると、おしゃれなカフェやコンビニ、旅行代理店、保育所、助産所、フィットネスクラブがありました。さらに凄いことに天然酵



母のベーカリーショップ、イタリアンレストラン、カレー屋、オーガニックレストラン、料理教室までもが併設されています。

組合員数は7万人以上で、南生協病院は総工費100億円のうち20億円を、「よってって横丁」は総工費27億円のうち4億円を、組合員が集めたそうです。そして、病院とは思えないような様々な施設が、組合員による「声」から生まれたそうです。住民の「意見」と「資金」からスタートした新しい試みが「南生協よってって横丁」。

よってって横丁の最大の目的は、地域住民がいろいろな世代を越えて、集まれる場所を作ること。1階には、学生が利用できる自習室やレストラン、カフェ、BARがありました。2階には、メンタルクリニック、歯科クリニック、キッズコーナー、屋外庭園、授乳コーナー、鍼灸マッサージ。組合

員たちは、子育て中の若いお母さん達にも使って欲しいと考え、さらに、併設している高齢者住宅に住む居住



者達にも参加してもらい、近隣で生活するみんなが家族のように交流してほしいとの思いから、自由に利用できるスペースが作られました。

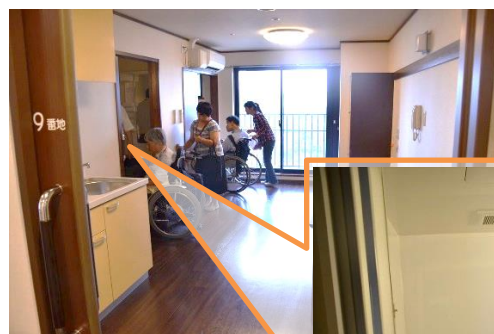
もう一つの大きな役割は、24時間365日在宅療養を支援すること。1階には、デイケアや在宅診療所、小規模多機能ホーム、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所。3階にはグループホームとヘルパーステーション。4階から8階までがサービス付き高齢者向け住宅があります。

サービス付き高齢者向け住宅を紹介します。

おじゃましま〜す♪



最初の扉を開けると...



お風呂は、湯船の周り3方に手すりがありました。洗い場も広くて、使いやすいそうです。



奥の扉を そ〜っとのぞいてみてごらん〜♪



トイレも広くて、車いすでも入りやすそう。

もっと凄いことに、近くにイオンや映画館、駅があります。びっくりぽん！将来、近くに住もうかと一瞬、思いました。

見学してみte思ったこと

ま〜: 地域全体として交流していくのはいいことだと思います。いつまでも続けたいいなあとあります。でも…60年後にはなくなっちゃうのかしら？（南大高駅前の土地活用事業により、土地が名古屋市からの60年間定期借地のため、当然更新されるよね）施設的には豪華だなあ。でも…老人ホームでの暮らしは、他の老人ホームとはあまり変わらないと思います…費用とか時間的制約とかあると思いました。でも老人ホームに入らなくても、その近くに住めれば、南医療生協グループが支えてくれると思います。

永津さん: ここは病院、サービス高齢者住宅、カフェなどの商業施設、保育園など色々な設備がありました。自習室には学生さんがいっぱい。そこが一つの街を作っている感じがした。南大高駅前でイオンもあり、立地条件は恵まれています。お互い様の精神や生協のよりあいなど温かみある施設でした。しかし、60歳以上とかやはり施設の規則もあるなあと感じました。

ちえみ: 何でも揃っていて、出不精の私にとっては、外へ出なくても殆どことはできてしまっただラクチン！揃いすぎて、すぐ近くのイオン以外、外へ出ることがなくなってしまうそう。自分から地域へ行くってことがなくなっちゃ

うかな。ここには、いろんなものが揃っているけど、学習室や保育園を利用する地域の人との交流は日常的なのかな？カフェや歯科、マッサージなどを利用している地域の人ほどどれくらいいるんだろう？

小さい頃、近所のおじさんやおばさんに会うと挨拶したりちょっとおしゃべりしたり…そういう、地域の人との顔が見える関係をどれくらい結べているのかな？見学だけでは十分には分からなかったこともあるなあ。

でっちゃん: 先ずは、組合員の意見を取り入れて作られた複合施設だけあって、生活する上での必要なものは、揃っている。でも、高齢者住宅は、とても家賃が高いので、障害年金だけでは、絶対、ここには住めない！と思います。年間を通して、いろんなイベントを企画して、老いも若きも集まれる場があり、いいと思いました。でも、これって、そこに住んでる人とか、支援する人がどう動くかによって、お互いの関係作りができると思うので、今、住んでるところでも、自分の動き方だけで、少しは周りが変わると思っています。例えば、私は、あえてヘルパーを使わずにひとりで買い物に行って、通りすがりの人に手伝ってもらおうとかね！常連になって、わかってもらおうとか…！そういうことも大事だと思います。

《 南生協よってって横丁 情報 》

所在地: 名古屋市緑区南大高2丁目701番地

アクセス（電車）: JR「南大高」駅より徒歩1分

アクセス（バス）:

鳴子13号/鳴海11号/緑巡回「南大高駅」下車

アクセス（車）:

- ・国道23号線「名古屋南IC」すぐ

- ・名古屋環状2号線「名古屋南IC」すぐ

駐車場: あり（30分間は無料、それ以降は有料）

お問い合わせ: 南医療生活協同組合

TEL: 052-625-0620

FAX: 052-625-0621

TREE CLIMBING に挑戦！



皆さんこんばんは。現在、わだちコンピュータハウスで働いております、小川直人です。プロレスラーの小川直也に似てますが、ハッスル！ハッスル！はしてません。どうしてもやってほしいとなれば…直接言いに来てください。ガッカリして帰られるかもしれません。出身は豊田市ですが合併で豊田市になったド田舎の“旧 小原村”というところで、目の前はほぼ田んぼか畑。空気が美味しいところです。僕には分かりませんが…。初めて情報誌に書きますので下手ですけど、温かい心で読んでください。今回はツリークライミングについて書きます。

こんにちは！！わだちコンピュータハウスの木造です。

さて、今回私は 10 月 29 日、名古屋市名城公園で行われたツリークライミングに挑戦してきました～！その様子を紹介します。（みなさんもツリークライミングがやりたくなっちゃうかも?!）



ツリークライミングって？

ツリークライミングは、ロープや道具などを使って木に登ったり、ハンモックに揺られたり…子どもや障害者、高齢者も楽しめるレクリエーション。競技ではないので自分のペースで、自分の行きたいところまで登ることができます。

登る前には、下草を刈ったり枯れ枝を剪定するそうです。これは、登る人たちの安全のためだけでなく、木を健やかに成長させることにもつながるそうです。楽しみながら自然保護もできるのですね。

今回私たちが参加したのは、「フィジカルチャレンジャーツリークライミング」といって、障害者が挑戦するツリークライミングでした。

ツリークライミングはアメリカが発祥ですが、障害者が挑戦できる技術はありません。ジョン・ギャスライトさんが、車いす生活をしている日本の女性と出会い、日本に帰国してから、障害者も参加できるような道具の開発を重ね、日本からス

タートしたツリーセラピーだそうです。来年には、この「フィジカルチャレンジャーツリークライミング」を世界へ発信していくそうです。

どうやって登るの？



当日は、ジョンさんに教えていただきながら、挑戦しました。

ジョンさんが、楽しく話をしながら手や足などにどれくらい力が入るかチェック。

そして登る前には、サドル（安全帯。ハーネスともいう）を装着します。後ろもしっかりカバーされています。

登り方には2つの方法があります。



椅子に座って…



木に吊された椅子とロープを使います。

椅子に座り、ロープの結び目を腕の力で持ち上げ、ロープを引っ張り、また結び目を持ち上げる…を繰り返して登っていきます。腕の力で自分の体重を支えますが、力が足りない人は横でロープを引き上げてもらえるので大丈夫！



1本のロープを使って…



木に吊されたロープを、しっかりとハーネスと連結させます。ロープにつなげてある輪に足を引っ掛け、ロープの結び目を上の方へ上げて、輪に引っかけた足を蹴るようにピーンと伸ばす。また、結び目を上げて、足を蹴る…を繰り返します。

今回参加したのは、車いす利用者が5名、知的障害の方が1名でした。その中から、2人の感想を紹介します。

ボビー

僕どんぐらい出来るのかな？

動くことで自分がどれだけ出来るのかな？木に登る？車いすでも可能？僕出来るかな？不安があったので一緒に登ってくれる人と行きたいなと思い職場の方をお願いしました。その後申し込みは速攻でした。

燃えてきた～！

会場までの道の途中にコンビがあったので少し腹ごしらえをし、会場の名城公園に着きました。体験会の場所には、もう木に何本ものロープがかけられており、ばっちり準備OK！その時は何かわかりませんでした。ハンモックのようなものも木と木の間に。ぶら下がっているロープを見ると俄然やる気が出てきました。



ニックネームがボビー？

会場に着き、受付をしていた時、ツリークライミングを教えてくれるジョンさんが参加者みんなに話しかけていました。受付が終わり僕にも話しかけて来てくれました。めちゃめちゃ陽気な感じで「へ～い!! 君の名前は？」直人です。「お～！君はボビーだね～！」ボビー？一文字もその文字入ってないけど…まっいっか！面白いし。ノリだノリ（^ー^）

よっしゃ！やったるぞ～！

いよいよ木のぼり開始です。まずは木に登るための準備で、登りながら休憩できるようにお尻を包むようにあるハーネスとこのをつけ、事前に準備をしてくれていたロープと金具で繋ぎ準備完了。幾つもの登り方がありましたが、僕は最大限に体を生かせるよう、そこにあった中で自分の力で登るものを選びました。最初一緒にいった方が登り、その少し後に登りました。

ここで皆さん勘違いしてしまいそうですが、木



を直接登る訳ではなく、木に吊るしてあるロープを使って登っていきます。(さすがに猿じゃないので…(´_ゝ`)ワラ)



さあ、僕が登ります。吊るしてあるロープにハーネスを着け、直人、あっ、間違えました。ボビー行きまーす！ロープに輪になった短いロープを巻き、そこに足を引っ掛けて足の力で上がります。足が伸びきったらロープの結び目を上げ、また足に引っ掛け足を伸ばすの繰り返しで少しずつ登ります。



僕はあまり高いのは得意ではありませんが、怖いと思うより面白さの方がデカく、これ以上はロープがないので登れませんというところまで登ってしまいました。たしか7～8m くらいだったかな？僕が参加した時にいた

どの人よりも高く登りました。その途中にツリーポートといい（これがハンモックのようなものの正体です）4点が木に繋がっている物にも乗り悠々と休憩をしておりました。



みんなも機会があったら参加してみてください！めちゃめちゃテンション上がるから(^-^) やってみて損はしないと思います。

🌿 エリー 🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿

きっかけ

同じ部署で働いているKさんに「えりちゃん！ツリークライミングの参加者募集してるよ！障害

者向けだって！私が介助者と一緒に登るから参加しようよ～なかなかない機会だよ～！！」と誘われたのです。ノリと返事だけがいいと言われる木造はその場で「いいですよー楽しそうですね！」とOKしたのでありました。

いい天気！！

クライミング当日。前日が激しい雨だったので開催されるかどうか心配でしたが、当日は雲ひとつない晴天！！まさに、クライミング日和でした。

ジョンさんおもしろい

今回、ツリークライミングを教えていただいたジョン・ギャスライトさん。とってもおもしろく、優しい方でした。参加者にあだ名をつけてくれたりして、みんな、和気あいあいとできました。

クライミング前の儀式で木に触って挨拶をします。普段はあまり感じたことがなかったのですが太い幹の木に触ると、なんともいえない迫力を感じることができました。



いざ！！登るぞ～！！！！

ヘルメットとサドルなどを装着し、事前説明も終わって準備万端。今回は2種類のクライミング方法がありました。1つは椅子に腰掛けて自分の手の力で登っていくタイプ。2つ目は1本のロープを頼りに自分の腕の力と足の力で登っていくタイプ。きっと私は椅子に座るタイプしかできないだろうな～と思っていました。(1本のロープで登るのは体力的にも厳しそうですし体幹がしっかりしていないと無理そうに見えました。)

しかし…

私に付いてくれたスタッフさん、私が無理だと思った1本のロープで登っていくほうが空いているので、そっちをやみましょう！と言うではないか…。心の中では「いや、無理でしょ…」と思い

つつも、またノリと返事だけがいいところを発揮してしまい、「やります〜！」と返事をしてしまったのです。

根性だ〜！



やると決めたからにはやるしかない！Kさんに車いすから降ろしてもらって、サドルにロープを引っ掛けブレイクス(結び目)を上へ上げてからロープを引っ張りフットループを下に蹴って上に登っていきます。

まあ結び目の硬いこと！おそらく手に障害のない人なら簡単にブレイクスをあげることができると思いますが、私の握力では必死にならないと上がりません。結び目をゆるくしてもらってKさんに体を支えてもらいながら、スタッフさんに助けてもらいつつ、なんとか少しずつ、少しずつですが登っていくことができました。



まだいけるよ〜

私に付いてくれたスタッフさん。とってもいい方で、私をなるべく高いところまで登らせてあげようとしてくれました。私が「もうだめ〜!!!」と心の中で思っていると、私の心が読めるのか？！「まだいけるよ〜！まだまだ!!!」と声をかけてくれ、そんなことを数回繰り返し、Kさんとスタッフさんのおかげでなんとか3〜4mは登ることができました。こんなに登れると思ってもらえなかった私は、ただただびっくりでした。



初ハンモック



次は座るタイプに乗ろう！となり、またもや必死でただひたすらハンモックを目指し、ロープを引っ張ります。ハンモックまでは、おそらく6mほど。きっとこの時の顔は必死すぎてものですごい形相になっていた

ことでしょう…。

なんとかかんとか、ハンモックまで辿り着くことができました。

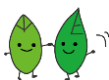
Kさんもハンモックと一緒に寝そべり10分くらいハンモックでゆっくりさせてもらいました。



青空とこちよいい風に吹かれて、「あー登ってよかったなあ」としみじみ思いました。

大変だったけど……

終わったあとは、へとへとでしたが、今回ツリークライミングに参加できて本当に楽しかったです。ブレイクスを上げたり体力的にも大変でしたが、なかなか障害を持っていると体験できるスポーツも少ないので、ツリークライミングジャパンさんのように障害を持ってもスポーツ体験ができるよう考えてくれる団体がもっともっと増えればいいのになと思います。

お問い合わせ 

ツリークライミングジャパン 事務局

〒480-1201

愛知県瀬戸市定光寺町 323-4

TEL:0561-86-8080

FAX:0561-86-8580

E-mail :

info@treeclimbingjapan.org

旅の空から

皆さん、こんにちは。いつも旅行情報を掲載していただいている（株）チクトラベルセンターの松本です。寒い寒い冬がやってきました。しかし最近の冬はイルミネーションを楽しむ季節と変わってきているようです。建物の中は完全暖房で冷たいビールを飲んでいる人もいらっしゃることでしょう。



さて、今回はアメリカの自然公園の旅のレポートを掲載いたします。グランド・サークルと聞いて何？と思われる方もいらっしゃるでしょう。アメリカのユタ州とアリゾナ州の州境にあるパウエル湖という大きな人造湖を中心に半径230kmの円（サークル）の中にすっぽりと収まるエリアのことです。10の国立公園、16の国定公園、19の国立モニュメントや州立公園があります。

アクセス



グランド・サークルへのアクセスは通常ラスベガスからバスや車でのアクセスとなります。今回はラスベガスからリフト付き大型観光バスを利用しました。とにかく走る距離がハンパではありません。エンジンが丈夫な大型バスが一番安心です。ラスベガスから途中休憩を30分入れても5時間という長距離のドライブです。

ザイオン国立公園

緑と地層の両方が楽しめ、野鳥や動物達の種類が多いところで有名です。川が削りだした典型的な渓谷で2億年前、1億年前の色違いの地層がはっきりと分かる国立公園です。



ザイオン国立公園内のトレッキングロードは車椅子ご利用の方も楽しめました



日の出や日没には山の色が刻々と変化して素晴らしい景色となります。

またトレッキングが楽しめる道も整備されており、今回のお客様も車椅子で少しトレッキングをお楽しみいただきました。

ブライスカニオン国立公園

こちらはザイオン国立公園や有名なグランドキャニオンよりはるかに標高が高い場所にありザイオンからは約80km離れています。「土柱」

地質構造で川の浸食ではなく長年の風雨により堆積岩が現在の針の山みたいな景色になりました。駐車場から展望台に出ると「オオーッ！」と



展望台は見やすい位置に造られていて車椅子ご利用の方も楽しめます

いう声が思わず出てしまうほどの見事な風景が



地層の色がくっきりと分かれて不思議な風景です

広がります。柱のような岩が延々と続く中、先っぽに岩が乗っているものもあります。

こちらは地震が発生したらポロリと落ちてしまうのではな

いかと心配する人もいますが、この一帯では地震はほとんど無いそうです。この地域は雨が多い場所ですが、観光した日は天気が良すぎてまぶしいくらいの晴天でした。

モニュメント・バレー

今回観光した場所でこちらだけは国立公園ではありません。その訳は先住民族ナバホ族の聖地として守られている地域だからです。また車で観光するときも舗装道路はありません。4WDの車両に乗換えての観光となります。自家用車でも入場するアメリカ人がいますがスタックしてタイヤが空回りしても自己責任となります。この4WDに乗り換えるときにトラックの荷台みたいな



4WDの車両が未舗装の道をどんどん進んで西部劇の世界へと連れていってくれます…映画『ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅』にも出てきます！

ところにイスが取り付けられていて、全く立てないお客様は二人でお抱えして乗っていただきました。ナバホ族の人にも手伝ってもらいましたが、怪力みたいな格好をしています

思ったより力は無かったようです。かなり大変な思いをして乗車していただきましたが、モニュメント・バレーの風景をご覧になられた皆様は「イヤ〜こんな凄い景色が見られるとは・・・」と感激なさっていました。舗装をしないわけは現在でも映画の撮影に使われることが多く、西部劇や古い時代の映画に舗装道路はNGなのです。アメリカの国立公園は映画撮影が禁止されているためこちらの風景は撮影にもってこいの場所なのです。

グランド・キャニオン

こちらはテレビ番組でもよく放送される景色ですから皆様もご存知でしょう。アメリカの国立公園は必ずと言って良いほど整備されていますので車椅子ご利用の方々でも存分に景色を楽しめる設備が整っています。スロープや身障者用トイレなどは当たり前の設備です。それとアメリカ人やカナダ人は障がいのあ



グランド・サークル地域で一番古い時代の地層が見られる

る方にすぐ気が付いて景色の見やすい場所を譲ってくださるのが良いですね。大型リフト付きの観光バスで3時間ほど走ってグランド・キャニオンに到着し、景色を目の前にした時に眠い目がパッと覚めてしまうほどの景色です。ここは長い長い年月を経てコロラド川が浸食して現在の姿になった場所ですが世界自然遺産にも登録されています。谷底のコロラド川が遥か下に小さく見えますが1,200mも下に川が流れていることを考えるとこの壮大さが理解できます。この日は一番東にあるポイントを観光して次のポイントに移動中、雨が降ってきたので予定を変更してホテルにチェックインしました。

翌朝のグランド・キャニオンの朝日を楽しまたい人を募ったら全員がご希望とすることで、朝5時のモーニングコールとなりました。少し雲がかかっていた



早朝のグランド・キャニオン
ワクワクしながら日の出の瞬間を待ちます

が東から昇ってくる太陽の光で渓谷の色が刻々と変化する様子を皆様カメラに収めてご満足なさったようです。

いよいよラスベガスへ



グランド・キャニオンの観光を済ませていよいよラスベガスへ移動します。この移動は5時間ほどの所要となりますので途中はルート 66 というアメリカ横断の道での昼食としました。高速道路ができる前はこの道が賑わっていたそうですが忘れ去られてしまわないように地域の人たちが協力して昔ながらの店を大切に保護して観光客を呼び込んでいます。「カーズ」という映画をご覧になられた方はご存知かもしれませんね。

街中のハンバーガー屋さんに予約もなしにバスで乗り付けて皆様好きなものを注文してお昼ご飯としました。サラダだけの人、バッファローのハンバーガーを4人で分けて食べる人などそ

れぞれでしたが、注文した飲み物の器があまりに大きくてびっくりでした。

どうもピクルスが入っていたガラス瓶がコップの代わりになっているようでした。そして太陽が傾き始めた頃にラスベガスの街へ到着。皆様疲れているかと思いきや、電飾アーケード



ジュースグラス
でかいっ！！ビールビン
との大きさを比べるとわ
かります。腹タプタプ・・・

ドで有名なフリーモント・ストリート・エキスペリエンスまで行きたいとおっしゃるのでホテルの前から車椅子用タクシーを何台か呼んでもらい全員で出かけました。ストリートには大道芸人や変わった格好をして観光客と写真を撮影してチップを貰う人など、とにかく笑えるような人がいっぱいいます。毎時00分からアーケードの天井に映し出される電飾を15分間楽しんだ後、近くのホテルからまた車椅子対応タクシーを呼んでもらい宿泊のホテルへ戻りました。

世界一の観覧車

ラスベガスには現在世界一大きな観覧車があります。今回のお客様で「絶対に乗る！」と決めてから参加なさった方もあり、皆様にお聞きすると全員が「是非乗りたい！」とのこと。というわけで観覧車を目指して徒歩で移動しました。



乗り込みには一旦停止してくださるので安心して楽しめます

近くに見えても徒歩での移動はかなり時間がかかります。

一つひとつの建物が巨大なラスベガスのホテル群は内部を抜けるだけでも移動

距離は長くなります。他のホテルのカジノを通りながらトイレの心配が無いように移動しました。

観覧車はまん丸のカプセル型で40人乗りの広さなので全員が一緒に乗って楽しめます。

ツアーメンバー貸切にしていただけただので、高

さ170mからの眺めにワイワイキャーキャーの楽しい30分でした。

シルクド・ソレイユ



ラスベガスは本場のシルクド・ソレイユのショーが每晚開催されています。今回は「KA」カーというショーと、マイケルジャクソンの「ONE」ワンというショーをご希望の方に分かれたので全員の方を「KA」の会場であるMGMホテルへ徒歩でご案内し、「ONE」の方は交通費がかからないようにエクスカリバーホテルから無料のモノレールでマンダレイベイホテルまでご案内しました。ラスベガスでのショーは常設の舞台装置なので日本各地をまわるシルクド・ソレイユのショーとは規模が全く違います。「KA」の



ショーは日本人のバトントワラーの女性が主役で物語が構成されていますが、言葉が理解できない人も楽しめるように考えられていて、舞台装置の素晴らしさとアクロバットの要素を観客が予想もできない動きで楽

しませてくれます。今回のお客様も「凄い、ラスベガスまで来て観た甲斐がありました。」と驚いていらっしゃいました。毎晩2回のショーがほぼ満席になるくらいですからその人気がいかに凄いかお分かりでしょう。

アメリカ・カナダは障がいのある方が安心して旅行できる行き先のひとつです。ADA法でしっかりと守られた設備が不安を取り除いてくれます。一度チャレンジしてみられてはいかがでしょうか？

観光庁長官登録旅行業第735号
㈱チックトラベルセンター

ハートTOハート事業部

松本 泰守(まつもと やすもり)

ハートTOハートを担当して20年目

〒460-0003

名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F

TEL (052) 222-7611

FAX (052) 212-2778

matsu@tictravel.co.jp

チックトラベル ハートTOハート

<国内募集型企画旅行>

リフト付きバスで沖縄満喫4日間ツアー

リフト付きバスを利用して美ら海水族館などの観光をします。ホテルはとても便利な場所にありショッピングも存分に楽しめます。

旅行日：2月19日（日）～22日（水）

料 金：ひとり 138,000円（2名1室）

ポイント：リゾートホテルでの滞在と観光をうまく組み合わせたコースです。電動車椅子での参加もちろん大丈夫です。バリアフリールーム希望の方

<国内個人手配旅行>

4人組女子旅 東京ディズニー オリエンタルホテル東京ベイ宿泊プラン

旅行期間：3月5日～9日又は12日～16日

料 金：ひとり 11,600円（4名1室）

ポイント：①オードブル付きカラオケ1時間付き ②夜食付き ③朝食付き ④デラックスルーム

<2名から参加可能な海外旅行>

☆ビジネスクラスで行く香港3日間

旅行日：2月5日～29日の毎日出発可能

料 金：ひとり 141,800円（2名1室）

ポイント：ゆったりビジネスクラスの航空機を利用し4時間のフライトです。豪華な機内食の他に香港空港内のラウンジもお勧めです。

☆ビジネスクラスで行くベトナム・ホーチミン4日間

旅行日：3月1日～31日の毎日出発可能

料 金：ひとり 185,000円（2名1室）

ポイント：ゆったりビジネスクラスの航空機を利用し、優雅な気分をどうぞ。ホテルは日本語で安心のニッコー・サイゴンを利用予定です。

<いつでも出発可能！個人旅行やグループ旅行>

☆ セブ島の休日5日間 ☆

旅行日：2月～3月の毎週、月・火・水・金出発

料 金：ひとり 108,000円（2名1室）

ポイント：お城のような外観のお洒落なホテルを利用します。部屋の広さも充分です。すぐ近くにショッピングエリアがあります。

☆ 美味しい札幌3日間 ☆

旅行日：2月1日～3月31日の毎日出発

料 金：ひとり 49,800円（2名1室）

ポイント：ジンギスカンセットと生ビール1杯付き、朝食もついています。ホテルは札幌駅徒歩2分で部屋内には段差がなく使いやすいホテルです。

<皆様専用のプランはこちらです>

ハートTOハートでは、ご家族や友人同士の旅行そしてグループから団体旅行まで国内・海外を問わず旅のプランを作成いたします。

- ①リフト付き大型観光バスでのプラン
- ②福祉タクシーを利用するプラン
- ③飛行機で到着した外国での福祉タクシープラン

※すべてドライバーがご案内する安心旅行です。

■申し込み・問い合わせ■

観光庁長官登録旅行業第735号 日本旅行業協会正会員
(株)チックトラベルセンター ハートTOハート
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F
TEL:052-222-7611 FAX:052-212-2778

【月～金 09:30～18:30 土日祝休】

<http://www.tictravel.co.jp>

〔担当〕松本：matsu@tictravel.co.jp

あいち旅サポートセンター



こんにちは、旅サポートセンターです。

あと 10 日程で今年も終わります。わくわくした新年を迎えられるよう今年をしっかりとめくっておきましょう。

秋の紅葉、冬の銀世界と一年中自然が楽しめる「富士見台高原ロープウェイ ヘブンスそのはら 天空の楽園」は、人気観光地としてバスツアーでもよく見かけます。

今回は「富士見台高原ロープウェイ」のバリアフリー情報についてご案内いたします。車イスで、天に続くロープウェイとペアリフトで、センターハウス（標高 1,400m）まで行くことができます。



ロープウェイは、車イスのまま乗ることが可能です。

ペアリフトは、少し歩ける方なら、リフトを止めて乗った後、次のリフトに車イスを

固定して、別々に乗ることができます。ペアリフト横の遊歩道は、戻ってくる際に上りや傾斜がきつめなので、注意が必要です。

展望リフトは車イスのままでは乗ることが出来ませんが、ロープウェイだけでも遙か山々が十分に楽しめます。

○バリアフリートイレ：2ヶ所

（マウンテンロッジ・センターハウス外）

※ ロープウェイ下の駐車場にはありません。

○料金：大人 2,200 円（ロープウェイ往復）

※ 障害者割引あり

手帳提示で本人と介助者 1 名 1,500 円

※ ロープウェイ・リフト券（往復）もあるが、展望リフト代も含まれてしまう為、購入するならロープウェイ往復券をおすすめします。

★12月22日（木）まで点検整備等により、ゴンドラ・リフト、売店・レストラン、ナイトツアーは休業です。

「Winter Night Tour」



日本一の星空とプロジェクションマッピング等
光のショー開催

2016年12月3日～2017年3月31日

旅サポーターと一緒にでかけましょう！

<モデルプランの特徴>

- ◎ヘルパー資格を持った旅サポーターが同行します。
- ◎車いすでご参加いただけます。
- ◎1名様から催行！（使用車種により1台に1～8名様の乗車が可能です。）
- ◎今回は介護タクシーを利用します。
- ◎バリアフリーに配慮した行程でご案内いたします。
- ◎期間中、都合の良い出発日を選んでいただけます。
- ◎お時間はご希望に合わせて調整します。
- ◎ご家族、ご夫婦など、介助の必要のない同伴者様も追加代金にてご参加いただけます。
- ◎ご自宅や最寄り駅へのお迎えも可能です。
（別途交通費が必要な場合もあります）
- ◎各コースとも休憩タイム（飲物付）を設けています。

モデルコース1

◇京都の青龍殿&伏見稲荷初詣◇



名古屋	伏見稲荷	東山
8:00 発		(昼食)
★将軍塚青龍殿・大舞台		
京都市街が一望できる新名所		名古屋
		18:00 頃着

<利用交通機関> 介護タクシー（1～8名様の乗車が可能）

<出発日> 2017年1/10～2/28までの毎日

<旅行代金> 1名様 21,500円～148,000円

<旅行代金に含まれるもの> 行程中の交通費、入場料、昼食代、旅サポーター1名同行費用。

*詳しくはお問合せください。

モデルコース2

◇日本平&石垣いちご狩り◇



名古屋	清水港バイクルーズ	
8:00 発	(昼食 45 分)	
—日本平[久能山・東照宮]—いちご狩り—名古屋		
(散策&ロープウェイ)		19:45 頃着

<利用交通機関> 介護タクシー（1～8名様の乗車が可能）

<出発日> 2017年1/8～2/28までの毎日

（一部除外日有り）

<旅行代金> 1名様 18,000円～138,000円

<旅行代金に含まれるもの> 行程中の交通費、入場料、昼食代、乗船料、旅サポーター1名同行費用。

*入場施設の休館日により行程が変わる場合があります。

*詳しくはお問合せください。

あいち旅サポートセンター

TEL (052)582-2164

e-mail: tabisupport@mwt.co.jp

（受付時間：9:00～18:00 土・日・祝日は休業）

〒450-8577 名古屋市中村区名駅南2-14-19

住友生命名古屋ビル8F

名鉄観光サービス株式会社

観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

福祉用具のリサイクル情報（16/12/6 現在）

欲しいもの、不要なものはありませんか？

リサイクルの輪を広げよう！

なごや福祉用具プラザで、福祉用具のリサイクル品の
コーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ ＊金額のないものは無料です。

★ベッド、床周り品

- ・3 モーターベッド
(KQ-603 パラマウント) H.10 購入 1 年使用
(KQ-803 パラマウント) 12 年使用
- ・折りたたみベッド 4 年使用

★移動用品

- ・携帯用折りたたみ式介助車いす 数回使用
- ・介助用車いす (MC-43SKSP ミキ) 不明
- ・四点杖 4 年使用
- ・伸縮杖 (アルミ製杖 MRA-O1112 ミキ) 未使用
- ・段差解消機 (スマートリフト S120 ハナオカ) 未使用
- ・¥要相談 3 年使用
- ・プロンボード (立位保持装置) 不明
- ・SRC ウォーカー M (子供用座位歩行器) 不明

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ
(プラスチック製 キャスター付 INAX) 未使用

★入浴用品

- ・シャワーベンチ
(肘掛けなし アロン化成) 数回使用
- ・シャワーチェア
(肘掛けなし テツコーポレーション) 不明
- ・シャワーキャリー (MHC46 ミキ) 4 年使用
- ・シャワーキャリー (シャワーラク ウチエ) 不明
- ・浴槽台 不明

★その他

- ・リヒカ 不明

★洗浄消毒、点検整備済中古車いす★

- ・自走式車いす
(NC-1CB 日進医療器) ¥25,800
(NW-2L11B 松永製作所) ¥39,800
(Skit4 ミキ) ¥69,800
- ・介助式車いす
(超々軽量 ミキ) ¥29,800

※なお、各種中古商品の販売も行なっておりますので、
ご要望等ございましたら、お問い合わせ下さい。

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・1、2、3 各モーターベッド
- ・各マット (体位分散、エア、ロホ)
- ・サイドテーブル

★移動用品

- ・各車いす
(手動、座幅 45 cm、片手駆動、子供用
簡易電動、介助用、リクライニング)
- ・JW1 のバッテリー
- ・歩行器 (馬蹄型) ・歩行車 ・シルバーカー
- ・マイリフティ ・つるべ ・床走行式リフト
- ・介護リフト用シート ・段差解消機 (屋外用)

★入浴用品

- ・入浴用車いす (安楽キャリーBタイプ)
- ・入浴用チェア ・浴槽台 ・入浴用リフト
- ・バスボード ・浴槽手すり

★その他

- ・スロープ (折りたたみ) 2M、3M
- ・ロホクッション ・座位保持用クッション
- ・車いす用座位保持ベルト ・昇降座いす
- ・置き型手すり ・車用つり革 ・紙おむつ
- ・スライディングボード SS ・拡大読書器 (小型)
- ・トイレ用手すり

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

＜福祉用具についての問い合わせ＞

なごや福祉用具普及協議会代表事業者

(株)メディケア リサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

い り り 情 報

ひかり鍼灸院 東洋医学体験談



ひかり鍼灸院のマッサージを受けられた方から、体験談をいただきました。ひかり鍼灸院さん（最後のページに広告掲載）は、健康保険が使える訪問マッサージ・リハビリです。お困りの方は、お気軽にお電話を！

施術の経過報告

施術者 鍼灸マッサージ師

患者名 元高校教師さん（65 歳）2013 年秋開始

2012 年の 4 月、突然の脳出血に見舞われました。61 歳と 5 ヶ月の事でした。夕食中の団欒時に、その時はやってきました。妻と娘が一緒だったのですが、「少し酔ったみたい」と言って横たわろうとしていた私の異変を、養護教諭をしている娘が見逃しませんでした。

救急車の手配、そして保健衛生大学が 10 分余にあったこともあり、10 日間ほど意識もうろうとする中、命を繋ぎ止めることができました。

4 年経過した今も、保健衛生大での、理学療法・作業療法のリハビリを続けて頂いています。長嶋に負けられないとの気概で、リハビリに励んでいます。左脳への出血だったため、右半身に重篤な後遺症が残り、特に右手はまったくと言っていいほど動きません。ただ歩く方は、杖の力を借りてですが、何とか歩けるようになり、車椅子の生活も脱却できそうです。

現職は高校教師をしていましたが、生活は激変しました。此のままではだめだと思い、直ぐにデーターサービスに通い、今では 70 代から 90 代の人たちと楽しんでいます。最初戸惑いましたが、今は、「先生、先生」と年上の方から慕われ、含蓄のある方々から学び取っています。リハビリの回数が減ったことから、保健衛生大の先生とも相談のうえ、鍼灸、ハリ、マッサージを週 3 回のペースでお願いし、3 年余が過ぎようとしています。

60 過ぎまで、マッサージとは無縁の生活で、鍼灸、ハリは初めの体験でした。何より楽しいのは、若い先生との語らいです。迷惑とは思うので

すが、この語らいが、現在の生活の大切な根幹をなしていると言っても過言ではありません。独身男女の方に来ていただいています、とてもいい方々で、孫まで含め声をかけて頂いています。

共に、研究熱心で、私の自立のための重要なスタッフの一員という存在になっています。

脳後遺症は、なかなか良くなり、長期間の時間を要する、地道な作業とも言われていますが、私も、保健衛生大学、ひかり鍼灸院の模範患者となるべき努力を積み重ねていこうと思います。

体験クーポン

無 料 券

マッサージ

または鍼灸

20～25 分

当院を利用される方は、病名に関わらず歩行困難の方や寝たきりの方が対象です。

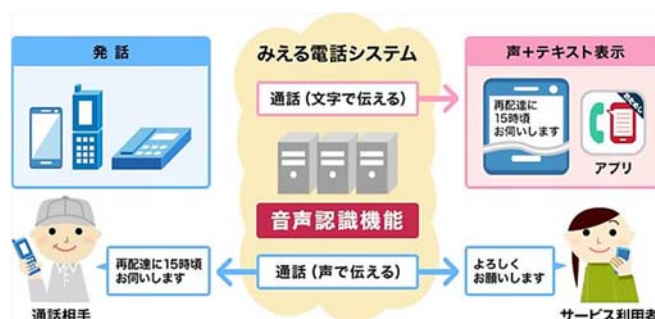
1 回体験（マッサージまたは鍼灸 20～25 分）中です。こちらの「体験クーポン無料券」を、マッサージの担当者へ渡して下さい。

緑区 ひかり鍼灸院

検索

NTTドコモ 「みえる電話」について

「聞き取れない」の不安をなくす
「みえる電話」でのあんしん通話



特長

- ・通話相手の言葉がリアルタイムに文字に変換され、スマートフォン画面に表示されます。
- ・難聴者をはじめとした、相手の言葉を聞き取るのが難しいと感じている人に便利そう。

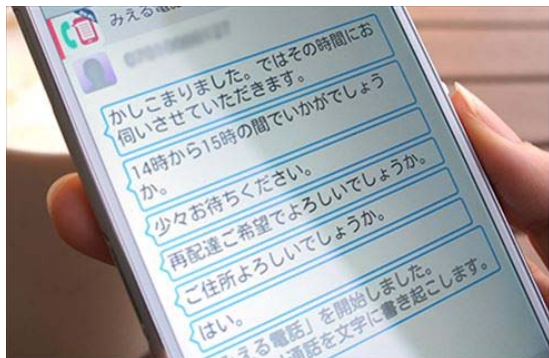
サービスのポイント

【離れた相手の言葉を文字変換】

いつもの電話と同じ操作で相手の言葉を文字にして見ることができます。聴覚障害のある人でも離れた相手と電話でコミュニケーションをとることができるようになります。

【リアルタイムに文字変換】

相手の話している内容が、話し終わりを待たずに順次リアルタイムで文字変換されます。



【かんたん操作】

発信は、みえる電話アプリから発信するのみです。着信時は、みえる電話の開始を押すだけで、特別な操作は必要ありません。

通話状態やサービス自動ガイダンス音声も常に“みえる”そうです。

トライアル実施期間：

2017年3月31日（金）まで実施中です。

お申込み：必要（トライアル期間中のご利用は、モニタユーザの申込みが必要となります）

月額利用料：無料

利用できる方：ドコモのFOMA/Xi契約がある方
対応機種：

- Android アプリ バージョン 4.3 以上
- Web アプリ

iPhone、iPad の場合は Safari ブラウザで、Android スマートフォン・タブレットの場合は Google Chrome で、ご利用いただけます。Safari ブラウザ、Google Chrome 共に、最新バージョンでのご利用をおすすめします。

問い合わせ先：NTTドコモ

TEL：0120-800-000

ドコモ携帯から：151（無料）

NTTドコモ みえる電話

検索

会話が見える化アプリ「UDトーク」

このアプリは、多言語の翻訳および音声認識や音声合成を実装することで、聴覚障害者のバリアフリーだけでなく、いろんな世代や国境を越えた言語バリアフリーに、漢字かな変換機能を多目的に使えるコミュニケーションアプリです。

企業が導入することで会議を効率的に進める事が出来て、議事録作成や講演録の公開など、会話が見えるようになります。

いろんな教育現場で難聴の学生へのノートテイクの手段としての活用も視野にいており、既存のシステムとの連携や、ノートテイクのスキルを活かしてアプリを使用できるようになっています。

また、音声認識技術を使うことにより、リアルタイムで字幕を作成することができます。講演者が字幕の出方を確認しながら発話を編集者と合わせていくことによって、情報量が多く正確な字幕を内製できます。また一人でも、字幕を修正しながらのリアルタイム作成が可能です。

アプリの機能紹介

- 音声認識エンジン AmiVoice®（アミボイス）を使って、会話／スピーチをリアルタイムに文字化。AmiVoice は日本語と北米英語が使用可能。
- 多言語音声認識エンジンは Apple 社、Google 社、Nuance 社製品を採用し、会話を文字化。
- QR コードをカメラで読み取ってアプリ同士を接続して会話のやり取りを行うことが可能。
- 多言語翻訳機能でリアルタイムに文字翻訳をすることが可能。
- 音声合成機能で内容の読み上げが可能。
- 手書きでのやりとりが可能。
- キーボードでの入力（本体、Bluetooth）が可能。
- アドオンを購入することで、パソコン上で起動する連携アプリから入力したり様々な機能拡張をすることが可能。

対応機種：

- Windows アプリ (Windows 7 以上対応)
- Mac アプリ (バージョン 10.9 以上対応)
- Android アプリ (バージョン 4.03 以上)
- iPhone、iPad アプリ (iOS バージョン 8.0 以上)
- (AppleWatch および ApplePencil にも対応)

料金：無料（機能の追加時は課金制となります。）
法人プランもあります。

UD トーク アプリ

検索

AJU福祉映画祭 in Nagoya 2017

映画を通して福祉を考える「福祉映画祭」が今年も行われます。場所は、12月にオープンしたばかりの昭和文芸小劇場。今年は7本の上映を予定しています。ぜひ、お友達をお誘いの上、ご参加ください。

開催日：2017年1月28日（土）・29日（日）

会場：昭和文芸小劇場

名古屋市昭和区花見通1丁目41-2

アクセス：地下鉄鶴舞線「川名」駅より徒歩2分
市バス「広路小学校」下車すぐ

入場料金：1日1,000円

定員：1日300人

内容：



【28日（土）】

テーマ「障害や差別について考える日」

「差別」や「障害」に関する映画を上映した後、障害平等研修で社会の中にある「障害」について考えます。

9:30 開場

10:00～12:00 映画「パレードへようこそ」

12:00～13:15 休憩

13:15～13:37 映画「新しいアプローチ」

13:37～15:45 映画「くちづけ」

15:45～16:00 休憩

16:00～18:15

障害平等研修 映画「Another World」

ファシリテーター：

曾田夏記氏（障害平等研修フォーラム 理事）

近藤佑次氏（AJU車いすセンター）

障害平等研修…障害者との対話を通して、多様性に基づいた共生社会を作る行動を促す障害教育

【29日（日）】

テーマ「映画とトークの日」

人の生き方、暮らし方、どこでどう暮らすかなどを描いた映画。ドキュメンタリー映画とともに、映画評論家、脚本家とのトーク。

9:30 開場

10:00～10:22 映画「新しいアプローチ」

10:22～12:10 映画「幸せのありか」

12:10～13:25 休憩

13:25～15:05 映画「風の波紋」

15:05～16:05

対談「幸せのありかと風の波紋」

ゲスト：白井佳夫氏（映画評論家）

小林茂氏（映画監督）

16:05～16:20 休憩

16:20～18:15 映画「百円の恋」

18:15～19:45

座談会「百円の恋と福祉の関係について」

ゲスト：白井佳夫氏（映画評論家）

足立紳氏（脚本家）

進行：天野鎮雄氏（俳優・劇座主宰）

※都合により、内容が変更になる場合があります。

※会場内に磁気ループ設置・車いす席があります。

※障害平等研修、対談、座談会には手話通訳・要約筆記が付きまします。

※すべての作品に日本語字幕が付きまします。

※「幸せのありか」以外の作品に場面説明が付きまします。

チケット申し込み・問い合わせ先：

○問合せ TEL：052-851-5240

（AJU車いすセンター 担当：近藤）

○チケット申込み

TEL：052-841-6677（自立生活情報センター）

FAX：052-841-6622

E-mail：eigasai_info@aju-cil.com

※名前、住所、電話番号、受講日、チケット枚数を上記へご連絡ください。

チケット代金は下記にお振り込みください。

お振込を確認後、チケットを送付いたします。

名古屋銀行 桜山支店 普通預金

口座番号：3453939

口座名義人：社会福祉法人AJU自立の家

理事長 野村純一

主催：AJU車いすセンター・AJU自立の家後援会

後援（申請中）：愛知県・名古屋市・愛知県社会福祉協議会・名古屋市社会福祉協議会・愛知県重度障害者の生活をよくする会

協賛：要約筆記等研究連絡会まごのて・NPO法人シーンボイスガイド

AJU福祉映画祭 2017

検索

【お詫びと訂正】

144号『まちの着物 de 車いす!!』（P9左）掲載内容に誤りがありました。

誤：羽依 style

↓

正：羽衣 Style



誌面をもってお詫びと訂正をさせていただきます。

訪問マッサージ・リハビリ

自宅療養・歩行困難の方が対象です。寝たきりゼロのためにご利用下さい。

健康保険が使用できます
(医師の同意が必要)



(株)東洋医療グループ
ひかり鍼灸院

緑区鳴海町字大清水 69-1029

☎ 0120-56-0348

<http://www.hikarisinkyuin.com>

お気軽にご相談下さい。担当／牧野

そらいろ工房

一級建築士事務所

“バリアフリー住宅”にこだわる設計事務所です。
車いす利用者の方のより良い住まいを一緒に考えます。

受賞歴
わが家のリフォームコンクール最優秀賞
あたたかな住空間デザインコンペ最優秀賞
ハウスアダプテーションコンクール佳作
愛知まちなみ建築賞

おご
気相
軽談
には
ど無
う料
ぞで
す。



〒466-0012

名古屋市昭和区小桜町3-11

TEL: 052-741-2907

FAX: 052-741-2760

そらいろ工房 井上義英

車いすに乗ったまま「行きたい!」をかなえる



介護タクシー ところ

でんわ 090-9184-5515

名古屋市千種区新池町2-22-8

tel/fax 052-782-3172

編集後記

いつも、この「AJU福祉情報誌」をご購読いただきまして誠にありがとうございます。

さて、2016年を振り返ってみると、なんと言っても、相模原で起きた障害者施設大量殺傷事件が挙げられるでしょう。自分と異質なものを受け容れない、内向きな不寛容の風潮が世界中で広がりはじめており、この事件もそうした風潮の中で起こったのでしょうか。さらに、障害者を不要なものとする、とんでもない偏見が犯人にはありました。障害者差別解消法や手話言語条例などと言った、差別や偏見を取り除くための取り組みが始まり、これからだというこの年、これまでは何であったのだろうと考えさせられる事件でした。

来たる2017年は、きっといい年になるよう、ひとりひとりが意識を持って、すべての人が良くなるよう、願いたいと思います。

(ナベ)



医療相談室

長年、診療機関で障害がある仲間の医療ケアに携わってみたい、リハビリテーション医の万歳登茂子先生のご協力で開設。

《相談日》1月21日、28日

2月4日、25日

いずれも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

《対象》障害がある人

《費用》無料

《受付》自立生活情報センター

TEL 052-841-6677

FAX 052-841-6622

E-mail johoc@aju-cil.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU 自立の家 サマリアハウス内相談室



やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談に対応。

《相談日》1月21日

2月4日、18日(要予約)

いずれも土曜日、午後1時半から

事前にご連絡下さい

《費用》無料

《受付》サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

E-mail sumai-sien@freeml.com

URL http://sumai-sien.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU 自立の家

サマリアハウス内



福祉情報誌オンラインショップ

AJU福祉情報誌オンラインショップを開設しました。あなたの家まで年間購読や最新各号のバックナンバーを郵送するだけでなく、インターネットからダウンロード販売も行えるようになりました。

お支払方法は次の3つです。

- ① 銀行振込(ゆうちょ銀行)
- ② 郵便振替
- ③ カード決済(Paypal)

問い合わせ先:

AJU福祉情報誌発行委員会(担当:水谷)

URL: <http://fjoho.cart.fc2.com/>

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

福祉情報誌オンラインショップ

検索

※年間購読でダウンロード版をご希望の方は、編集部までご連絡ください。

E-mail: f-joho@aju-cil.com



情報募集中!

障害福祉制度への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、あれ?ちょっとおかしいな?と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ、編集部までご連絡下さい



■編集部

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

E-mail f-joho@aju-cil.com

お待ちしております

年間購読料 1,500円

隔月発行

振込先(郵便局にて振込)

加入者名: 福祉情報誌発行委員会

口座番号: 00890-0-90573

お問い合わせ・購読中止のご連絡は、こちらまで

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

E-mail: f-joho@aju-cil.com